「次は、全国コンクールで弟と二人そろって大賞をとりたい」

中原紗希さん
令和5年度 文部科学大臣賞受賞

あと一歩、その悔しさを力に変えて。

「本当に自分が大賞!?と信じられなくて、夢の中にいるんじゃないかと思いました」明るい笑顔を見せてくれたのは、中原紗希さん。

令和5年度JA共済 全国小・中学生 書道コンクールの文部科学大臣賞受賞者です。書道を始めたのは、小学2年生のとき。佐賀県の、ある書道の審査会で賞をもらったことがきっかけです。そこからもっと字が上手くなりたいと練習を重ね、書道教室にも通い、毎年このコンクールにも挑戦してきました。

「小学4年生のとき、全国コンクールの大賞に、あと一歩のところまでいけたんです。うれしさと同時に悔しさもあって、小学生のうちに絶対大賞をとるぞという想いが強くなりました」

周りの支えと、大好きな先生への強い想い。

憧れにたどり着くまでの日々。その隣にはいつも一緒に頑張る仲間がいました。それは、4歳下の弟さん。お姉さんの姿を見て、「自分もと書道を始めました。昨年度、二人そろって県コンクールの金賞に選ばれています。

「夏休み中は宿題を前半に終わらせて、毎日弟とたくさん練習しました」

小学生最後の応募で、初めて条幅に挑戦した中原さん。特に努力したポイントは「画数が多い"郷"という字を、引き締めて書くようにしました。また、五文字がバランスよく紙面に収まるようにしたんです」と教えてくれました。応募する一枚を選んでくれたのは、書道の先生だったそうです。

「いつも書道の先生は、熱心に指導してくれます。書道の楽しさも教えてくれるんです」

大賞への情熱に加えて、諦めずに頑張れた理由がもう一つ。「コンクールのホームページで、前回大賞の方が担任の先生と写っている写真を見て、私も大好きな先生とどうしても撮ってもらいたいと思いました。先生にも本当に喜んでもらえて、とてもうれしいです」

書道がくれた、感謝の気持ちと多くのつながり。

「これまで、書道の先生をはじめ、周りの方にたくさん支えてもらったので、ありがとうの気持ちでいっぱいです。その中でも、一番は家族ですね」

応援してくれた両親や隣にいてくれた弟さん。その支えがなければ書けなかったといいます。

「感謝の気持ちを持つ機会になりましたし、書道を通して多くの方とつながることができて、続けてきて本当によかったです」

全国コンクールの表彰式でも、新たな出会いがありました。

「受賞者の皆さんとお話しさせていただき、自分の作品との違いを見つけられたのは、貴重な経験になりました」

この春から中学生。次の目標は「弟と二人そろって全国コンクールで大賞を受賞することです」と教えてくれました。

「コンクールを通して、諦めないことや努力し続けることの大切さを学びました。自分の気持ちを表現できる機会だと思うので、皆さんも挑戦してみてほしいです」

「将来は、顧問の先生のように絵を描く楽しさを伝えたい」

村上香菜さん
令和5年度 農林水産大臣賞受賞

待っていたのは、想像もしなかった受賞。

「描き上げたときの達成感や、そのたびに上達していくことが好きです。自分の力で完成させたという感じも楽しいですね」幼いころから大好きな絵について、こやかに語ってくれたのは村上香菜さん。

令和5年度JA共済 全国小・中学生 交通安全ポスターコンクールの農林水産大臣賞受賞者です。中学校では美術部に所属し、その活動の一環として、このコンクールに出会いました。初めて応募した中学1年生のときは、県コンクールで銀賞。次は

金賞を目指して挑戦した結果、さらに先にある全国コンクールの大賞に輝きました。

「顧問の先生から電話で受賞したと聞いたとき、とてもびっくりしましたね。農林水産大臣賞という、すごい賞をもらえてうれしいです」

見た人に、一目で怖いと思ってもらえるように。

令和4年度と二年続けて、テーマに選んだのは踏切事故。

「家の近くに線路があるのですが、その踏切で危ない渡り方をしている人を見たんです。そういう人が、私のポスターを見て、少しでも交通安全に気をつけてもらえたらうれしいと思って描きました」

特に成長したポイントは、構図だといいます。

「お母さんが、もう少しポスターっぽく描いてみたら?とアドバイスをくれました。なので、要素をできるだけシンプルに、作品を見たときに一目で怖いと思ってもらえるようにしたんです。遮断機をくぐる様子を描いて、誰もが息をのむような緊迫感のある作品にしたくて頑張りました。コンクールに参加して、構図の大切さをさらに意識するようになったんです」

自分で考えながら、美術部の顧問の先生のアドバイスも参考に仕上げていきました。

「伝えたいことをわかりやすく描くのにすごく悩みました。人物を描くことも難しかったです。でも、その分成長できたと思います」

作品に描かれている女の子は「想像したり、友だちに低い体勢をしてもらったりして描きました」と教えてくれました。

最後の応募は、より写実的な作品に挑みたい。

受賞を家族に伝えたときに「喜んでくれたことが本当にうれしかった」といいます。

「締め切りが近くなったら、学校でも家でも描き続けました。お母さんが毎日、作品を車で家と学校の間を運んでくれたんですよ。いい作品が描けたのは、支えてくれたお母さんとお父さんや、相談に乗ってくれた顧問の先生のおかげなので、とても感謝しています」

この春から中学3年生。最後の応募へ「次は色使いをさらに意識し、もっと写実的に仕上げたいです」と新しい目標を掲げています。まっすぐな瞳で「コンクールは自分が成長できるきっかけになるので、参加してみてください」と語る村上さん。

「将来は、美術の先生やデザインに関する仕事に就きたいと思っています。顧問の先生のように、誰かに絵を描く楽しさを伝えたいです」

思い描く未来に向かって、今年の挑戦がもう始まっています。

JA共済は応援します。未来をになう子どもたちの挑戦と成長を。

今年も、子どもたちの自由な挑戦を支えたい。

地域の子どもたちの、心の成長を育む機会に。

「諦めない気持ちやチャレンジ精神を学んでほしい」と話すのは、JAさが佐城エリア久保田支所の遠江嘉孝さん。

「今度こそ全国コンクールで大賞をとるんだという中原さんの熱意を知っていました。だからこそ、今回の受賞を聞いたときは本当にうれしかったです」と顔をほころばせました。

「受賞者コメントを見てみると、両親や兄弟、支えてくれた大人たちへの感謝の言葉が多く書かれているんです。それこそがこのコンクールの意義であり、子どもたちの心の成長を育む機会になっていると思うと、感慨深いものがありますね」

子どもたちの頑張る姿を応援し続けたい。

「一つひとつの作品から、一生懸命取り組んでくれている子どもたちの姿が想像できるんです」

JA共済連 佐賀県本部の中川弘子さんは、優しい表情で語ります。

「子どもたちが才能や努力を伸び伸びと発揮できる場を、いつまでもサポートしていきたいですね。作品を完成させたときに、できた。頑張ったゃという達成感を得られる機会になったらうれしいです」

感謝の気持ちが芽生えるきっかけ。そして、一人ひとりが自由に挑戦できる舞台。大切な機会を、これからも支え続けるJA共済です。

左）JAさが佐城エリア久保田支所 遠江嘉孝共済課長 兼 渉外課長
右）JA共済連 佐賀県本部 中川弘子さん

今年も、皆さんと交通事故のない未来を描きたい。

交通安全の学びを、大人になっても大切に。

「松江市だけでも、毎年多くの作品が集まります。このコンクールの活動が地域に根付いていると思うと非常にうれしいです」と語るJA しまねくにびき地区本部の上野晃一さん。当たり前の毎日を突然変えてしまう交通事故。だからこそ、事故が起こらないような社会づくりに貢献したいと強く願っています。

「ポスターを描く機会は、交通ルールを勉強するきっかけになると思います。交通安全について学んだことを、大人になっても大切にしてほしいです。今年も皆さんの自由な発想と目線で表現してください」

子どもたちやご家族に、喜んでいただくために。

「携わるようになってすぐ、島根県から全国コンクールの大賞に輝くなんて」と話すのは、JA共済連 島根県本部の吾郷心香さん。展示会や表彰式などで、子どもたちとそのご家族が記念写真を撮っているのを見て、大きなやりがいを感じたそうです。

「県内の金賞から佳作までの受賞者を新聞広告で発表しています。学校の先生から、生徒の名前が載るのが楽しみとご連絡をいただいたのも印象深いですね」

交通事故のない未来を、地域の皆さんと一緒に描いていきたい。これからもこれからも変わらない、JA共済の想いです。

左）JAしまねくにびき地区本部 上野晃一支店次長
右）JA共済連 島根県本部 吾郷心香さん
後方）JAしまね くにびき地区本部 職員の方々

主催 農業協同組合 / 全国共済農業協同組合連合会
協賛 (一社)全国農業協同組合中央会 / (株)日本農業新聞 / (一社)家の光協会 / 全国農業協同組合連合会 / 農林中央金庫 / 全国厚生農業協同組合連合会
後援 内閣府 / 警察庁 / 文部科学省 / (一財)全日本交通安全協会 / 全国都道府県教育委員会連合会 / 全国市町村教育委員会連合会 / 全国連合小学校長会 / 全日本中学校長会 / (公社)日本PTA全国協議会
※内閣府・警察庁・(一財)全日本交通安全協会は交通安全ポスターコンクールのみ

JA共済 コンクール 検索

※応募方法は各都道府県によって異なります。詳しくは、コンクールホームページでご確認ください。 https://social.ja-kyosai.or.jp/contest/

JA共済 全国小・中学生 書道コンクール

第68回(令和6年度)書道コンクール課題

		小学生						中学生		
条幅の部	学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3
	課題	つばさ	はなび	秋まつり	美しい湖	友情の証	豊富な資源	芽吹く季節	言葉の源泉	高鳴る鼓動

		小学生						中学生		
半紙の部	学年	1	2	3	4	5	6	1	2	3
	課題	うた	くるみ	あさがお	笑顔	信じる道	尊い生命	到達目標	国際親善	風光明媚

JA共済 全国小・中学生 交通安全ポスターコンクール

第53回(令和6年度)交通安全ポスターコンクール課題

交通安全を訴えるためのポスター

① 子ども向けまたは歩行者向けの交通安全ポスター
(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの。)

② 運転者向けの交通安全ポスター
(自動車[農耕作業用自動車を含む]・バイク・自転車などを運転する人に交通事故の防止を呼びかけるもの。)

JA共済